

令和8年1月31日

世田谷区立世田谷小学校
学校関係者評価委員会

世田谷区立世田谷小学校
校長 金子 佳生

令和7年度 学校自己評価報告書

1 本校の目標及び計画

◇教育目標

- 世界の子ども 日本や世界の国々に興味・関心を持ち、それぞれの文化と伝統を理解し、大切にしようとする子ども
自分と違うものを広く深く受容できる子ども
- 正しい子ども よく考え、正しく判断して、行動する子ども
- がんばる子ども 心身共にたくましく、めあてをもって、すすんでやり遂げる子ども
- やさしい子ども 人や自然、身近なものを大切に、助け合う子ども

◇教育目標達成のための基本方針

「子どもが自ら育つ学校」～みんなに居場所がある楽しい学校～

◇今年度の重点目標

- ◎「はじめに子どもありき」を基盤とした「みんなに居場所がある楽しい学校」を実現する。
- ◎子どもの「やりたい」が実現でき、子ども自ら学習する学校
- ◎「個別最適な学び」、「協働的な学び」を充実させ、子どもが「わかる喜び」を実感できる学校
- ◎子ども一人ひとりに居場所があり、それぞれの多様な個性を生かし、認め合い、共に学び育つ学校

2 学校の概要

◇校長 金子 佳生

◇学級数 19学級

◇児童数 486名（令和8年1月現在）

◇学校の特徴

令和7年度 世田谷区教育委員会研究指定校（「授業改善」、「魅力ある学校」）として個別最適化、単元内自由進度学習を取り入れた授業展開を行う。生活・総合的な時間を中心とした探究学習、通常学級と特別支援学級の日常的な交流、たてわり班活動、朝スポ、チョコスポ、陸上教室、読み聞かせ、サマースクール、子どもまつり、地域との連携（防災デー、世田小地域ネット「いぶき」、子ども食堂「いよよ食堂」、保護者有志「わかばカフェ」）

◇ホームページアドレス <https://school.setagaya.ed.jp/seya/>

3 全方位的な点検・評価（自己評価）

○印：肯定的評価の項目のうち、特に意見のあった項目

●印：特に組織全体として否定的評価の回答があった項目

〔1〕重点目標への取組

教育目標・重点目標の達成に向けた学級や各教科での取組についての自己評価

○今年度も引き続き総合的な学習の時間・生活科で子どもたちがやりたいことを実現できる体験に全学級で取り組み、「協働的な学び」の充実を図ることができた。今年度は、研究部を中心に各学級での取り組みの進捗や課題点などを共有し、バリエーションを広げ、多角的な視野をもつことができた。今後は、学級全員で一年を通して探究していく「材」を教師と児童とで見つけていく初期の導入段階を大切に、それらを学びとして深めることを重点としていく。

○学校で行った児童アンケートによると、「自由進度学習が自分に合っている」と感じている児童が93%であった。説明的な動画や見通しをもたせるためのワークシート等を工夫することで児童が自分の学習を見通しながら自己調整する力が向上してきた。教師側もより具体的に一人ひとりの児童の学びを思い浮かべながら評価や学習計画、準備を行うようになったことも成果である。三年目にあたる来年度は、自由進度学習に適した学習内容や単元を検証しながらさらに充実させ、自分のペース、進度に合った学びを展開させていく。

〔2〕地域との連携・協働による教育の評価

保護者地域連携・地域運営学校・学校支援地域本部・学校協議会・PTA活動・家庭教育支援についての自己評価

○児童アンケートの中に「住んでいる地域がすきである」が昨年度の93.6%を上回って96.8%という数字が抽出された。保護者やPTA、地域に住む方々の活発な活動や温かい見守りを子ども達自身が感じ取っていることが分かる。多くの子どもが学校の中だけでなく、地域全体を安心した居場所として実感していることは大変有難く、喜ばしいことである。今年度も学校の行事や学習活動が保護者や地域、学校支援地域本部の大きな支援のもとに成り立つものが多かった。子どもたちにとっても保護者や地域の方にとっても楽しく充実した時間となるよう進めていきたい。

●肯定的な評価が低い「学び舎」、学校協議会や合同学校協議会の情報については学校だよりやHP、校内の掲示コーナーの充実を図ったが、なかなか数字にはつながらなかった。しかし今年度道徳地区公開講座にて地域・保護者・教員三者による「地域で暮らす子ども」をテーマにした懇談会は大変有意義な時間となった。このような機会を増やしその都度学校の情報発信していくのも有効な手立てと思われる。また、学校における居場所については、半数以上の地域の方(65.4%)が学校に居場所があると回答いただいた。昨年59.2%と比べて大きく伸びている。来年度は学校運営協議会として新たな体制が始まる。PTA活動や世田小地域ネット「いぶき」、「いよよ食堂」を始めとする様々な活動を通して地域のコミュニティづくりにも貢献できる学校を目指していく。

〔3〕「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進の評価

教育課程・教育目標・学習指導・教科日本語・生活総合・生活指導・道徳教育・特別活動・学校行事・体育・健康教育・食育・キャリア教育・進路指導・せたがや11+、キャリア未来デザイン教育・特色ある教育・特別支援教育・幼保小の連携についての自己評価

○「学び舎」において中学生が運動会やサマースクール等の行事やイベントにボランティアとして多数参加した。生活科で2年生が中学校を訪問したり、華道クラブの作品を展示させてもらったりした。このような活動を今後も工夫して継続していく。

(4) 信頼と誇りのもてる学校づくりの評価

学校経営・学校運営・「学び舎」による学校運営・学校評価・教職員・研究・研修・保健管理・衛生管理・安全管理・広報活動・情報提供・出納・経理・文書・情報管理についての自己評価

●「学び舎」については、令和8年度区研究指定「魅力ある学び舎」と合わせて、共通の講師による研修会の開催や「1学年1交流」の企画を起こし、さらに小小、小中の交流を広げていく。

●学校ホームページについて、行事ごとに見やすく、わかりやすく情報を発信し、充実させていく。

(5) 安心安全と学びを充実する教育環境の整備の評価

施設・設備に関する自己評価

●校舎老朽化が進み、教室数が足りないことが課題となっているが、定期的な安全指導と安全点検を行い、実態に応じた環境整備を実施する。